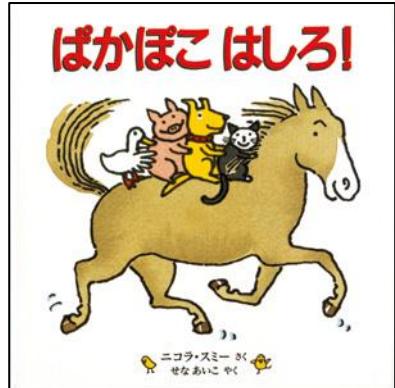




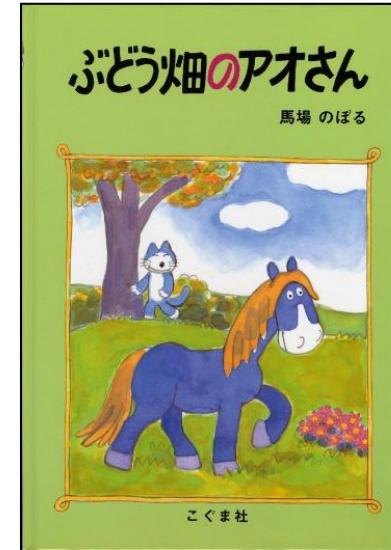
『こうまくん』 Pキ  
きくち ちき／作  
大日本図書 2016



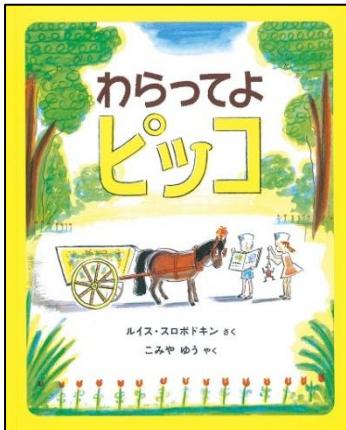
『ばかぽこはしろ!』 Pス  
ニコラ・スミー／さく  
せな あいこ／やく 評論社 2008

＼2026年は うま年!/

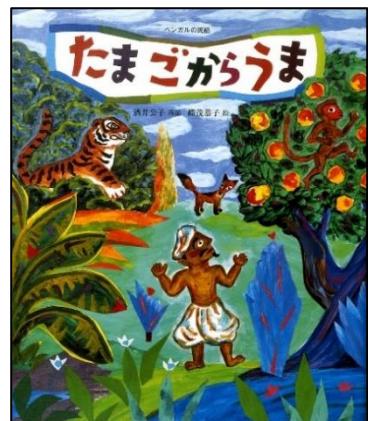
# 馬の本



『ぶどう畠のアオさん』 Pハ  
馬場 のぼる／文・絵 こぐま社 2001



『わらってよピッコ』 Pス  
ルイス・スロボドキン／さく  
こみや ゆう／やく 福音館書店  
2022



『たまごからうま』 388.25  
酒井 公子／再話 織茂 恭子／絵  
偕成社 2003

★図書館の本は、分野ごとにならんでいます。

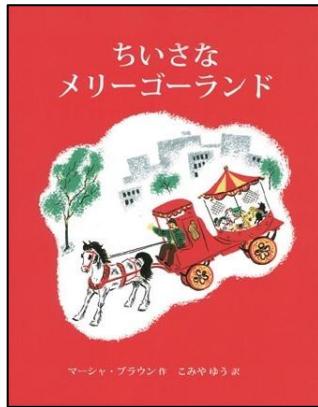
それぞれの分野の場所をさがしてね!

例) 480 ⇒ いきもの P ⇒ えほん

※絵本は絵を描いた人の名前のあいうえお順で本だなにならんでいます。

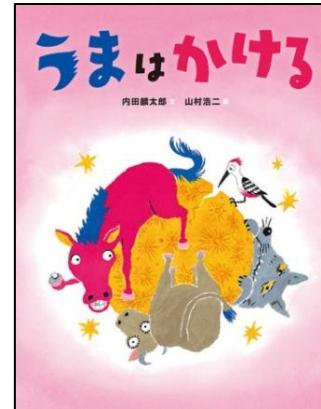
例) 山村 浩二／絵 内田 麟太郎／文 ⇒ P/ヤ

「ヤ」のたなをさがしてね!(本に貼ってあるラベルはヤです)



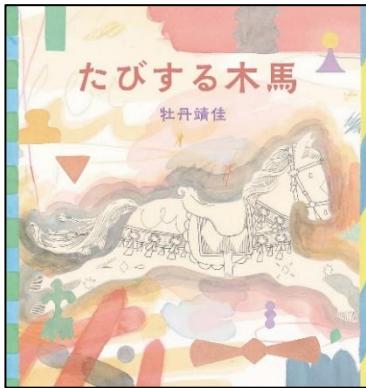
『ちいさなメリーゴーランド』 Pフ  
マーシャ・ブラウン／作  
こみや ゆう／訳 瑞雲舎 2015

アンソニーがそとをながめていると、いどうしきメリーゴーランドがゆかいなおんがくをながしながら、うまにひかれてやってきました。「ぼくものりたいな」とワクワクします。



『うまはかける』 Pヤ  
内田 麟太郎／文 山村 浩二／絵  
文溪堂 2018

かけっこ「かける」からはじまり、おんがくを「かける」まで、いろいろなみの「かける」がでてくるえほんです。「かける」にあわせて へんかする うまのひょうじょうにも ちゅうもくしてください。



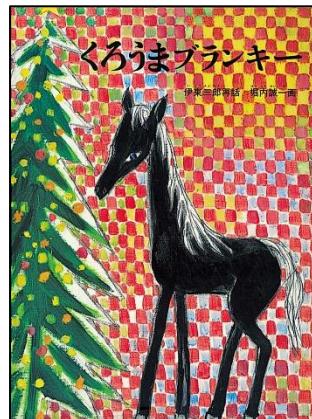
『たびする木馬』 Pホ  
牡丹 靖佳／作 アリス館 2022

ずっととおいくにて うまれたもくば。  
そのなは「ブラン」。なづけてくれた  
おとこのこと たのしいじかんをすこ  
しますが、わかのがやってきました。  
さあ、ブラン、しゅっぱつです。



『うまかたやまんば』 388.1  
おざわ としお／再話 赤羽 末吉／画  
福音館書店 1988

うまかたは さかなをうまにのせ、やまみ  
ちを あるいていました。ひがくれると  
やまんばがでてきました。やまんばから  
にげたうまかたは、いえをみつけました。  
ところが、そこはやまんばのいえでした。



『くろうまブランキー』 Pホ  
伊東 三郎／再話 堀内 誠一／画  
福音館書店 2007

うまのブランキーは、いじわるなしゅ  
じんのところで はたらいていました。  
ある日、しゅじんにたたかれてたおれ  
てしまいました。ブランキーのもとへ  
そらからやってきたのは…。



『ウマがうんこした』 489  
福田 幸広／しゃしん ゆうき えつこ／ぶん  
そうえん社 2014

ウマはたくさんうんこをします。  
じぶんで くさがたべられないあかちゃんは、おかあさんのうんこをたべます。  
たくさんしゃしんで ウマのうんこのた  
いせつさがわかるほんです。